

科目名：精神看護学概論	配当年次 1 年	開講時期 1 年後期
単位・時間： 1 単位 (30 時間)	授業の方法：講 義	
担当者： 箕輪 雄太	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>精神看護学概論は、現代社会における精神保健・看護ニーズの高まりの背景を知り、精神看護学の基本的な考え方、および精神看護を实践するものとして視点や態度を学ぶ。心と体の健康は密接な関係にあり、人間の心の健康を考える時に、その人がどのような状態であるかを様々な視点から考える必要がある。この科目では、心とは何か、精神の健康とは何か、精神の障害とは何か、その定義や捉え方を学び精神の健康に影響を与える要因と対象を理解する。また精神疾患・障害とその治療の歴史的流れを理解し、精神に障害を持ち地域で生活を継続するための支援制度や看護を学ぶ。近年相次ぐ大規模災害がもたらすメンタルヘルスの問題や災害だけではなく様々な心的外傷体験が人間の身体・精神そして人間関係に深刻な影響を及ぼすことが実証されてきた。入院や地域にかかわらず、精神障害を持つ人々と家族の回復を目指す看護のあり方を学ぶことを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護学の概念について理解する。 2. 心のしくみと精神の健康の概念について理解する。 3. 精神障害を持ちながら地域で暮らす人々を理解する。 4. 精神医療の歴史的変遷と精神保健福祉の概念について理解する。 	
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護学の概念と看護の対象、心のケアとメンタルヘルス 2. 精神保健の考え方 精神の健康の概念と定義 精神障害の捉え方 3. ストレスと健康の危機 心的外傷が及ぼす影響 4. 5.人間の心のはたらきとパーソナリティ ・心の諸活動 6. 7.心のしくみと人格の発達 関係の中の人間 全体としての家族 人間と集団 8. 9.社会の中の精神障害 精神障害と治療の歴史 <p>日本における精神医学・精神医療の流れ 精神障害と文化 精神障害と社会学</p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 11.精神障害と法制度 地域における精神保健と精神看護 精神障害を持ちながら地域で暮らす人々を支える 12.地域で生活するための原則 生活を支えるための社会資源・サービス 13.地域での看護の実際 学校における精神保健と精神看護 14.職場における精神保健と看護 災害と精神看護 15. 終講試験・まとめ 	
成績評価の方法・基準	筆記試験 100%	
テキスト	<p>【教科書】系統看護学講座 精神看護学の基礎 精神看護学① 医学書院 e テキスト</p> <p>系統看護学講座 精神看護学の展開 精神看護学② 医学書院 e テキスト</p> <p>【参考文献】必要に応じて資料配布</p>	
履修上の注意事項		

科目名：精神看護学方法論 I	配当年次 2 年	開講時期 2 年後期
単位・時間： 1 単位 (1 5 時間)	授業の方法：講 義	
担当者： 竹原 陽一	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>社会環境は大きく変化し、ストレスを抱え生活することを余議なくされている。そのような中で、精神に障害のある対象者は増加している。そのため、精神症状の意味と精神疾患の病態の理解、</p> <p>精神科領域に特徴的な治療を学び、専門的知識を習得し、看護にいかすことができる内容とする。</p> <p>1. 特徴的な疾患の病態と症状の理解ができる。</p> <p>2. 主な診断・治療について種類と意味が分かる。</p>	
授業の計画	<p>1. 精神症状の理解 (知覚／思考／自我意識／感情／意欲・行動／意識／知能、記憶、不安状態、心気状態、幻覚妄想状態、抑うつ状態、精神運動興奮状態、昏迷状態、無為・自閉状態、引きこもり状態)</p> <p>2. ↓</p> <p>3. ↓</p> <p>4. 検査・治療についての理解 (診断の基礎・検査の種類、薬物療法、社会療法、精神療法、電気痙攣療法)</p> <p>5. ↓</p> <p>6. 疾患についての理解 (統合失調症／そううつ病／アルコール・薬物依存症／てんかん／神経症／人格障害)</p> <p>7. ↓</p> <p>8. 終講試験</p>	
成績評価の方法・基準	筆記試験 100%	
テキスト	<p>【教科書】系統看護学講座 精神看護学の基礎 精神看護学① 医学書院 e テキスト 系統看護学講座 精神看護学の展開 精神看護学② 医学書院 e テキスト</p> <p>【参考文献】必要に応じて資料配布</p>	
履修上の注意事項		

科目名：精神看護学方法論Ⅱ	配当年次 1 年	開講時期 2 年前期
単位・時間： 1 単位 (30 時間)	授業の方法：講 義	
担当者： 竹川 信彦 高野 江里子	実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>	
授業概要 目的・到達目標	<p>精神に障害を抱え治療している対象者は、精神医療・法制度の変革に伴い、病院から施設、地域へと生活の場を広げている。そのような現状より、対象を取り巻く環境の理解、さらに、対象の特徴を捉えるための観察の視点・方法、日常生活上のケアの視点とその目的、精神科における治療に対する看護についても学び、対象理解のための視点、必要な看護について理解できるような内容とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活上の問題点と援助の視点について理解できる。 2. 主な症状、検査、治療における援助方法についてわかる。 3. 精神看護における「安全」について基本的な考え方を知り、患者の安全を守るためのリスクマネジメントについて学ぶ 	
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回復を助ける 回復の意味 入院治療の目的と意味 治療的環境をつくる 2. 3.安全を守る リスクマネジメントの考え方と方法 3. 緊急事態に対処する 院内を中心とした災害時のケア 4. 身体をケアする 精神科における身体のケア 身体にあらわれる心の痛み 5. 精神科の治療と身体のケア 日常から気をつけておきたい合併症 6. 7. 8. 精神科における身体ケアの実際 9. 10. 睡眠の援助 身体問題へのグループアプローチ 12. 13.サバイバーとしての患者とそのケア 受け入れがたい行動をする患者たち 14.リエゾン精神看護 15.終講試験・まとめ 	
成績評価の方法・基準	筆記試験 100%	
テキスト	<p>【教科書】 系統看護学講座 精神看護学の基礎 精神看護学①e テキスト 系統看護学講座 精神看護学の展開 精神看護学②e テキスト</p> <p>【参考文献】 必要に応じて資料配布</p>	
履修上の注意事項		

科目名：精神看護学方法論Ⅲ	配当年次 3年	開講時期 2年後期
単位・時間： 1単位（ 15時間）	授業の方法：講 義	
担当者：高野 江里子		実務経験のある教員による授業 <input type="checkbox"/>
授業概要 目的・到達目標	<p>精神に障害を抱え治療している対象者は、精神医療・法制度の変革に伴い、病院から施設、地域へと生活の場を広げている。精神に障害がある対象を看護の視点を用いて情報をアセスメントし、必要な看護を導き出す能力を養う。さらに精神に障害のある対象のコミュニケーションの特徴を踏まえた関わり方を学ぶ。</p> <p>1. 精神に障害がある対象を看護の視点でアセスメントする能力を養う。 2. 精神に障害がある対象との関わりから関係性についてアセスメントできる。</p>	
授業の計画	<p>1. 精神に障害を抱える対象との関係構築のための技術 ケアの前提 ケアの原則 ケアの方法</p> <p>2. 関係をアセスメントする プロセスレコードの活用</p> <p>3.4. 精神に障害を抱える対象の理解 事例を用いて対象の状態のアセスメント 問題点と解決策計画立案</p> <p>5. 精神疾患の症状の観察</p> <p>6. 精神科における身体ケアの実際の計画立案</p> <p>7. プロセスレコードの記述方法の実際</p> <p>8. 筆記試験・まとめ</p>	
成績評価の方法・基準	筆記試験及び講義内での記録物の取り組みを総合的に評価する。	
テキスト	<p>【教科書】 系統看護学講座 精神看護学の基礎 精神看護学① eテキスト 系統看護学講座 精神看護学の展開 精神看護学②e テキスト</p> <p>【参考文献】 必要に応じて資料配布</p>	
履修上の注意事項		